

病院の仕事を学ぼう

オープンホスピタル（8月6日）



▲看護師の業務体験では、血圧測定などを体験しました。

上野総合市民病院で、オープンホスピタルを開きました。

この催しは、小学生から大学生・専門学校生までを対象として、将来病院で働こうと考えている人に医療の現場を体験してもらうことを目的に開催しています。

この日は実際に医療機器を使用した業務体験ができ、参加した約50人は病院のさまざまな仕事について理解を深める1日となりました。



▲放射線科技師の業務体験では、腹部エコー検査の機械を使って画面に表示される体内の様子を観察しました。

歴史を刻む地域の鉄道

伊賀線開業100周年記念イベント（8月7日）



▲来賓によるテープカットと、白鳳幼稚園の園児によるくす玉割りが行われました。

ハイトピア伊賀で、伊賀線開業100周年記念イベントが開催されました。

会場には、運転シミュレーションのコーナーや伊賀線の沿線を再現したジオラマの展示などがあり、訪れた人は伊賀線の魅力を堪能しました。

また、伊賀鉄道上野市駅では、100周年記念列車「バースデー・スイートレイン」の出発式を行い、多くの人が大きな拍手で記念列車を見送りました。



▲運転シミュレーションを体験する子どもの様子。

◀県立伊賀白鳳高等学校パティシエコースの生徒がこの日のために製作したバースデーケーキなどが用意されました。



早い！おいしい！ガス炊飯器で新米を炊こう！



「はじめチョロチョロ〜なカッパ」

火で炊く

それがおいしさの秘訣です。

★ガス炊飯器の良いところ

強火と火加減

弱火で始まり一気に強火で沸騰まで。絶妙の火加減だからおいしい！

包み込む

火の力が対流を起こし、釜全体を高温で包み込むからおいしい！

短時間

なんてたって、火で炊くから早い！



上野ガス

伊賀市上野茅町2706

☎0595-21-3611

http://www.ueno-gas.co.jp

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



あか 灯りをともして

ライトアップイベント「お城のまわり」
(8月13・14日)



▲国史跡旧崇広堂ではふれあい呈茶会が開かれ、ライトアップされた庭を眺めてお茶を楽しむ姿が見られました。

上野公園とその周辺施設で、ライトアップイベント「お城のまわり」を開催しました。

2日間にわたり、上野公園やその周辺にある歴史的建造物群のライトアップのほか、施設に映像を映し出すプロジェクションマッピングなど、さまざまな催しを行いました。

訪れた人は、普段とは違う姿を見せた伊賀の夜を楽しんでいる様子でした。



▲伊賀上野城の竹灯りでは訪れた人も一緒に火を灯すことができ、多くの人が集まりました。

お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

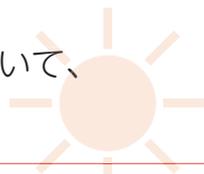
まちかど通信

コラム

図書・救急など



本紙 20 ページの「防災の日と防災週間」について、わかりやすく解説します。



こども広場

「地震について考えよう」

日本は地震の多い国です

地球の表面はプレートと呼ばれる厚い岩盤が重なり合っていてできています。プレートは少しずつ動いていて、跳ね上がったたり割れたりしたときに地震が発生します。日本は世界のなかでも特に地震が多い国です。今回は地震について考えてみましょう。

地震のときの正しい行動

次のクイズを解いてみてください。

問1. 二部屋の中にいるときに大きな地震が発生した。すぐにしなければならぬのはどっち？

① ドアを開けて急いで外に出る。

② 丈夫な机の下にもぐり、頭や体を守る。

問2. 家族と離れているときに地震が発生した。そんなときのために決めておくことで、正しいのはどっち？

① 安全な集合場所を家族で決めておく。

② 危険でも自宅に集まると決めておく。

地震に備えて準備をしておこう

みなさん、クイズの答えは分かりましたか。

問1の答えは②です。

地震が発生したら、慌てずに机の下や倒れそうな家具がないところなど、安全な場所に避難してください。地震がおさまったら家族や先生の指示に従いましょう。

問2の答えは①です。

地震は家族と一緒にいるときに起こるとは限りません。事前に避難場所や連絡方法を家族と話し合っておきましょう。

地震が発生するとパニックになり正しい行動が取れなくなります。いざというときのために、地域や学校での避難訓練はとても大切です。また、地震の規模が大きいと、助けを受けられるまでに時間がかかることが予想されます。最低でも1人あたり3日分の食べ物や飲み物などを準備しておくよう、家族で確認しておきましょう。

地震について少しでも分かりましたか。これを機会に家族や友達と話し合ってみてくださいね。

【問い合わせ】 総合危機管理課

☎ 22・9640 FAX 24・0444